

評価者	都市整備部長	樋田 浩一
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理
目標とすべきまちの姿	道路の安全性・快適性を確保するため、効果的かつ効率的な道路の整備が進められているとともに、計画的な舗装の修繕が進められています。 また、適切な歩行空間が整備されることにより、だれもが安心して道路を利用できる環境となっています。 災害が発生した際の緊急輸送路や緊急避難路が整備され、市民の安全が確保されています。 通行に支障となる不法占用物が排除され、適切な道路管理を行っています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	16.0%	平成30年度(2018年度)	15.9%	平成29年度(2017年度)	18.6%
	平成28年度(2016年度)	20.6%	平成27年度(2015年度)	19.5%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.1%	0.0%	0.0%
ちょうどよい	2.1%	44.2%	2.1%
効果不十分	3.7%	5.3%	19.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.3%	0.8%	0.3%
ちょうどよい	3.1%	39.8%	1.7%
効果不十分	5.3%	6.1%	20.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	1.2%	0.0%
ちょうどよい	2.3%	43.4%	1.2%
効果不十分	3.9%	7.7%	16.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.8%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	4.1%	43.2%	0.5%
効果不十分	2.5%	5.3%	16.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.1%	1.1%	0.1%
ちょうどよい	3.0%	44.1%	1.0%
効果不十分	4.4%	4.7%	14.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

### (3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	32.5%	43.0%	2.6%	21.9%
平成30年度(2018年度)	38.8%	38.7%	2.1%	20.3%
平成29年度(2017年度)	30.1%	44.5%	1.4%	24.1%
平成28年度(2016年度)	28.1%	44.6%	2.3%	25.0%
平成27年度(2015年度)	27.9%	44.2%	2.4%	25.5%

## 2 内部評価

### (1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①道路修繕については道路舗装修繕計画を基に、また、橋りょうについては橋りょう長寿命化修繕計画を基に、国の交付金を活用し効率的に維持管理を進めていく。トンネルについては、平成30年度に実施した点検調査結果を基に、トンネル長寿命化修繕計画を策定し、維持管理を進めていく。(都整-15,16,17)
- ②平成29年度に実施した路面下空洞調査の原因調査を行い、対策を講じていく。(都整-15)
- ③交通の円滑化や安全性の確保についても、引続き国の交付金を活用し、財源確保に努めながら、交通安全施設の整備・改修を図っていく。(都整-14)
- ④通学路や生活道路の安全対策については、引続き道路ラインやカラー舗装の補修・新設などを行い、交通事故の削減を図っていく。(都整-13)
- ⑤小町通り等の商店街における看板等の不法占用物について、これまで巡回指導や指示書の発行など様々な検討を行ってきたが決定打はなく、引き続き巡回指導を続けていくことで改善につなげていく。(都整-05)

### (2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①道路舗装修繕計画に基づく舗装修繕や橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕を、国の交付金を活用し、効率的かつ効果的に道路の安全性・快適性を確保する。(都整-16,17)
- ②緊急輸送路及び避難路の安全確保については、路面下空洞調査の原因調査を行い、対策を講じる。(都整-15)
- ③. ④交差点の歩道の段差解消、道路ラインの設置やカラー舗装の設置・補修を実施し、適切な歩行空間を整備することにより、交通事故の削減に努める。(都整-13,14)
- ⑤商店街における不法占用物については、通行に支障となる不法占用物を無くすため、定期的な巡回指導を行うことにより適切な道路管理に努める。(都整-05)

### (3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
都整-03	道(水)路調査事業	56,600	90,329	8.6	8.0	無	b	B
都整-04	道路台帳整備事業	82,579	84,280	3.7	3.3	無	b	B
都整-05	道路施設管理事業	114,533	109,800	5	5.6	無	b	B
都整-06	街路照明灯事業	25,191	25,799	0.8	1.2	無	b	B
都整-12	道路橋りょう管理運営事業	37,369	36,157	1.1	1.2	無	b	B
都整-13	交通安全施設維持事業	5,938	5,748	0.4	0.4	無	b	B
都整-14	交通安全施設整備事業	27,805	24,485	2	1.7	無	b	B
都整-15	道路維持補修事業	220,359	476,580	2.4	2	無	b	A
都整-16	道路新設改良事業	179,718	222,066	1.9	1.6	無	b	A
都整-17	橋りょう維持補修工事	168,387	56,340	2	1.7	無	b	A
都整-18	国県道対策運営事務	1,204	1,182	1.0	1.0	無	b	B
都整-19	国県道対策事業	26	26	1.0	1.0	無	b	B
都整-20	道路整備計画等運営事業	85	85	0.1	0.1	無	b	B
都整-21	受託設計・工事監理	-	-	2	2.2	無	a	A
都整-42	街路樹維持管理事業	22,273	24,704	1.0	1.0	無	b	B

**(4) 主な実施内容**

<p><b>【主な実施内容】</b></p> <p>①道路舗装修繕計画に基づき、道路新設改良工事を実施し安全な通行を確保した。(都整-16)</p> <p>①橋りょうについては法定点検を実施し、また、トンネル及び大船駅西口ペデストリアンデッキについては長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理に努めた。(都整-15,17)</p> <p>②緊急輸送路及び緊急避難路の安全確保のため、路面下空洞調査を実施した。また、平成29年度に実施した路面下空洞調査結果に基づき原因調査を実施し、掘削することにより空洞の有無を確認し、緊急輸送路及び緊急避難路の安全を確保した。(都整-15)</p> <p>③国の交付金を活用し、歩道の段差等改善工事を実施し、歩道のバリアフリー化に努めた。(都整-14)</p> <p>④道路ラインやカラー舗装の補修・新設を行い、交通事故の削減を図った。(都整-13)</p> <p>⑤小町通り等の商店街について看板等の不法占用物の巡回指導を続けるとともに、商店街との連携も模索し、道路上における不法占用物の解消に努めた。(都整-05)</p> <p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネル修繕設計業務の一部については、業務の仕様等の調整等に時間を要し、年度中の完了が見込めなくなったことから繰越明許とし令和2年度に発注することとした。(都整-15)</li> <li>・交通安全施設整備工事の一部が入札不調により年度内に発注することが出来なかった。(都整-14)</li> <li>・道路維持修繕工事市道015-000号線については、隣接土地所有者との調整に時間を要したとのことから年度内に発注することが出来なかった。(都整-15)</li> </ul>
--

**(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
<p><b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装修繕計画に基づく舗装修繕工事、橋りょうに係る法定点検、橋りょうの修繕工事及びトンネルに係る長寿命化修繕計画の策定等について、予防保全型管理に向けた取り組みを実施した。(都整-16,17)</li> <li>・いくつかの事業が年度内に完了しなかったため、効率性及び有効性を要改善とした。(都整-14,15)</li> </ul>			

**3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)**

整理番号	都整-16	事業名	道路新設改良事業										
指標の内容	道路舗装修繕計画の進捗率					単位	km	指標の傾向	↘	備考			
当該指標を設定した理由	計画的に実施する必要があるため。					年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
						目標値	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	
						実績値	1.9	1.5	2.2	2.7	2.1	1.2	
						達成率	55.9%	44.1%	64.7%	79.4%	61.8%	35.3%	